

第8回 西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会 会議録

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
会長	<p>■ 開会</p> <p>本日はご多忙の所ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から「第8回西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会」を開催させていただきます。</p> <p>本日は、小山委員の代理で久川様にご出席いただいております。また、安枝委員におかれましては、所用のため欠席という連絡をいただいております。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。</p>
会長	<p>■ 議事</p> <p>資料については、事前に事務局から送付されていますが、活性化ビジョン案がまとまってきています。これまでの議論の集大成であり、本日はビジョンの内容についての最終確認になろうかと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>1 住民アンケート結果について</p> <p>まずは、議題1の住民アンケート結果について、事務局から説明をお願いします。（資料1, 2について説明）</p>
委員	<p>アンケートの回答者について、若い人の意見が少ないですが、偏ってしまったことの要因は何でしょうか？</p>
事務局	<p>自治連の会長にご回答を協力いただいたので、高い年齢層になったのではないかと思います。若い人については、意見交換会などの場で意見をいただきました。</p>
委員	<p>若い人の意見が概ねとれたと認識しているのか、追加の調査が必要と考えているのでしょうか。若い人の意見は重要だと思います。若者の居住ニーズの調査について、そういう調査をしっかりとしてもらった方が良いと思います。</p> <p>ひとのつながりを育てるということについて、そういう行動と居住分析との関連性がありそうだと思います。これからこのビジョンをどのように進めていくのかということでもあります。</p>
事務局	<p>意見交換会の場でも意見をいただいたので、若い人の意見は把握したと考えています。今後、個別の取り組みを進める中で若い人の意見をもらうことは必要だと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	<p>今回のアンケート結果は、高齢者層の意見としてはこういう傾向であるということ とで理解しようと思います。若い人は回答が少ないので、傾向が異なるのではない かと考えます。この結果だけで西京区の魅力とするのは危険であると思います。</p> <p>30%の傾向が70%の傾向とどのように違うのかが分析が必要だと思ひます。</p> <p>当初の目的としては、芸大の跡地についての論点がありました。そこだけではだ めなので、西京区全体をとらえることはよいのですが、社会情勢に応じた計画とし て考えると、芸大の跡地のことが活性化ビジョンとは離れて検討が進むとい うことになるという懸念があります。</p>
会長	<p>西京区にとって何が必要なのか、芸大跡地にポイントを絞った時に考えられるよ うにすることが大切です。西京区全体を考えた時に、このまちにはこういうことが 必要ではないか、ということがわかるのではないかと思います。</p> <p>この活性化懇談会以外に、若い世代の声を聴こうという機会があります。1月29 日にPTAの役員に集まってもらってワークショップをしようと思ひしています。 40周年の事業として考えているものです。</p> <p>50周年を見据えてどういふことを考えていくのか。柱が出てくると思ひます。</p> <p>区の基本計画ができた時にもワークショップなどがされました。5年たつのでま た変化してくると思ひます。また2年もすれば中身も変わってくるでしょう。洛西 ニュータウンの少子高齢化が言われているが、そういうことを考えながら芸大跡地 のことを考える必要があると思ひます。次の世代へのバトンタッチという側面もあ ると考えています。</p>
委員	<p>アンケート結果は高齢者の意見に偏っていますが、60歳代未満の年齢層で集計 されていて傾向を分析しているが、おもしろい結果が出ていると思ひます。</p> <p>例えば西京区らしい暮らし方については、「旬の農作物」については、若い人に とって魅力的になっているということや「芸術文化」も評価が高くなっています。 都心で働いて郊外で暮らすというライフスタイルを現在しているでしょうが、年代 によってまちの評価ポイントが明らかに違っています。</p> <p>子育ての問題が大切ということも結果から出ています。</p> <p>アンケートの中でも3つのカテゴリーで分析しているのは、わかりやすいと思ひ ます。出ている結果は合理的な推論が成り立つような結果にはなっていると思ひ ますので大切に使えばよいと思ひます。</p> <p>こういう調査をやらないとジェネレーションの違いを確認できないのですが、今 回のアンケートではある程度読み取れる資料にはなっていると思ひます。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	<p>30～40 歳代の人にきくと、子育て支援の部分の評価がもっと伸びるだろうと思います。PTA のワークショップで出てくる意見が大切だと思います。アンケートを実施するにしても PTA の協力が必要になるので、1 月のワークショップは有効になるのではないかと思います。</p> <p>学校とのつながりがまだまだだと感じているので、アンケート調査の対象になってもよいと思います。</p> <p>アンケート結果で注目したのは、新しい地域性、楽しさみたいなものが生まれることが確認できたこと。農作物や芸術文化への評価が多くなっているのはうれしいです。交通問題については若い人で関心が低いので今後交通問題に取り組んだとしても、将来的にどうなのかということになりかねないと思います。</p>
会長	<p>交通については対策をしておかないと、将来は若い人は運転免許をとらない人も増えてきていますし、公共交通機関がしっかりしていないと交通難民になってしまいます。そういった部分も大切だと思います。</p> <p>エリア的に自然に関する評価が本所エリアで高くなっているのはびっくりしました。洛西では自然環境については満たされているということかと思います。本所管内では十分に満たされていないから評価されているのではと思います。</p> <p>2 活性化ビジョンについて</p>
委員	<p>3 年議論して、多くのことを整理していただいたと思う。総論としてはうまくまとめ上げられたと思います。</p> <p>気になるのは、西京区の個性というものが表現されているのかどうかということ。幅広すぎるのかなとも思います。</p> <p>産業、ビジネス、特産物など各論として伸ばしていく部分が出てくるので、西京区在勤の方々にも理解してもらい、魅力をわかってもらうことが重要だと思います。</p>
委員	<p>分かり易くまとめていただいたと思います。地域の役員は 70 歳台、80 歳台の方が多いので、若い方を中心に、戸建ても増えて若い人も多いため、自治会にも入っていない人が多いが、若い人が活躍できる西京区でありたいなと思います。</p> <p>新しく来た人に、大枝の魅力、西京区魅力を訴えていけたらと思います。地域の人に説明するためのビジョンがまとまった、有意義な会議であったと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	今回のビジョンで一番嬉しく感じるのは、「洛西ニュータウンのライフスタイル」という視点についてふれていただいたことです。NPO の名前（らくさいライフスタイル）そのものでもあり、そういう視点を取り入れる時代が来たなと思いうれしいです。
会長	もっと深く取り組んでいく必要があると思います。絵に描いた餅にならないように。
委員	いいビジョンにさせていただいたと思います。つながるマップも個々の部分を入れていただいて、わかりやすいものとなっており、いいビジョンを作ったと思います。ニュータウンの中では、農と住に関心を持ってもらえる地図の配置になっているところがよいと思います。若い人が少ない中でこのようにアンケート結果をまとめてもらえたこともよいと思います。今後、若いお母さん方とも連携して取り組んでいければと思います。
委員	<p>ビジョンが出来上がって、理想がそろってきたと思います。では、その理想をどう実現していくのかということになります。</p> <p>行政がどうバックアップができるのかということ、それから私のところはこういうことができます、こういう担い手がありますということです。そういうサポートをしていけるようにしたいと思います。</p> <p>ビジョンにはバリアフリーや福祉という言葉は出てこないのだが、子育て、高齢者という中に含まれると考えています。具体的にしていく中で見えてくるところだと思っています。</p>
会長	<p>40周年の事業として行ったギネスに挑戦は、誰もが参加できる企画としました。若い人も老人も障害のある人も参加できることを考えて実施したものです。</p> <p>片腕のない人が参加したのですが、手をつなぐ列の最初に並んでいただいてよかったと思います。気分が悪くなった人もいて大変だったのですが、一つになっていただいて、みんなが共存できるということの象徴にしたかった。誰もが一緒に生活できる場所となればよいと思います。ビジョンがその指針となればよいと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	<p>このビジョンを具体的にしていく行政の取り組みにおいて、このビジョンを下敷きにしていくつもりでいますが、特につながるマップを活用していければと思います。</p> <p>西京区全体を俯瞰してみることがあまりないですが、つながるマップのように地域を見てみると新たな発見があると思います。新しい発想も出てくるのではないかと思いますし、そのように使っていただければありがたいと思います。</p>
委員	<p>もともとは芸大移転を契機とした会議であり、洛西地域を中心に委員の方々に参加いただいているが、西京区全体のビジョンということで議論ができてよかったと思います。</p> <p>西京区においては、現在様々なプロジェクトが動いていて注目されています。西京区の将来をどうするのかということを考えていく中間地点となればよいと思います。</p> <p>桂駅周辺で立ち上げてきている活動や、檜原、嵐山のまちづくりなどと、どのようにつないでいくのか。行政にも要望はいただいていることもありますが、行政も一緒に走りながら取り組んでいければと思います。</p>
会長	<p>誰が見ても感じ取れるビジョンにできればと思います。福祉の部分が抜けているのではないかという意見もありましたが、わかりやすくするために入れていければと思います。抜けているつもりはなかったが言葉は大切だと思います。障害がある人もない人もみんなが楽しく暮らせる街ということを入れていければと思います。やさしいまちを目指したいと思います。どなたでも参加できる、喜んでもらえる町にしたいということです。</p>
委員	<p>今回まとめたビジョンは完成度が高いと思います。</p> <p>懇談会の位置づけがとらえにくかった面もありますが、芸大をきっかけにしながら、いろんなところに広がって、技術的にも難しかったと思いますが、まとめていただいたと思います。ビジョンの冊子自体は多くの人に見てもらいたいと思います。</p> <p>私自身はつながりが大切と考えるが、背景には高齢化ということがあります。WHO の定義で高齢社会という言葉を使いますが、高齢者の数を割り算して指標としています。高齢者にも 60 歳代、70 歳代とあり、近年では後期高齢者の分析は当たり前前になっているところ、首都圏では最近では 85 歳以上の人口動向の分析が行われてきています。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
	<p>65歳の年代はまちづくりの担い手世代だと思います。また、子供が減って分母が小さくなっていくことは問題である。そういうことも踏まえてつながりが重要です。</p> <p>高齢社会の定義は割り算だけではダメで、虫の目を持つ必要があります。人生が長くなるということが一つの側面で、長い人生をどのように生きるのかということを考える必要があります。</p> <p>大学の博士課程に60歳代や子育てが終わった女性が入ってきています。勉強する機関についてもいろんな選択制が出てきています。仕事もいったんやめてまた復帰するとか、自己決定を強いられている社会でもあります。</p> <p>個人を見て社会を見る必要があります。高齢社会ではなく長寿社会としてのとらえ方が重要です。より個人化が進んできますし、自分で自分のことを決める必要が高まってきます。いろんな人との関係を作ることが重要になってきます。</p> <p>西京区という地域のまとまりは行政が言わなければ意識されませんが、そのまとまりを通じてつながりをつくることでできるようになることがあります。ネットワークを作っていくということの可能性が考えられます。</p> <p>西京区内にもそれぞれの地域ごとのまとまりがあって、それらの差異がある中で関係を考えることとなります。価値観の違う人同士が共存していくことがないと社会が成り立たないと思います。そういうことをしていこうとしている時代だと思います。</p> <p>ビジョンはそういう視点を盛り込んでおり、チャレンジブルな内容であると思います。そういう意味では西京区らしさはできているのではないのでしょうか。経済活動の面から見ることも大切であるということを思います。ドライに見ていく中で見えてくることのあるのではないかと思います。</p> <p>単なる行政サービスの在り方では解決できない課題があります。経済活動そのもののビジョンを作る必要があると思います。仕事や暮らしの部分ではそういう頭出しがされていると思います。</p> <p>子育てというと親の話ですが、子供が健やかに育つ街づくりということを考える必要がある時代だと思います。そういうことをこのビジョンを機会にして考えていければよいと思います。</p> <p>施策を考えるときに、納税者を対象とする考え方はあるのですが、子供のことを考えていく必要もあります。子供にとって住みづらい世の中になってしまうことに危機感を感じています。こういう取り組みの中でスタートしていければと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
会長	<p>これからの子どもたちのことを考えていかないといけない。そのためには行政だけでなく、我々自身が考えていかなければ難しいと思います。</p> <p>洛西地域は、後期高齢者は少ないですが、5～10年したら後期高齢者が急増します。一方で本所地域は既に後期高齢者が多い状況があります。西京区全体で考える必要があるということだと思います。</p> <p>私も70代ですが、どれだけ動けるかということが重要だと思います。次の世代にどのようにバトンタッチできるかということを考える必要があります。</p>
委員	<p>上手にまとめてもらったと思います。テーマごとにわかりやすく前文を書いてもらったのでわかりやすくなったと思います。取り組み例の中で、行政がどれだけバックアップできるのかとか、いろんな活動がある中で横のつながりができていないといった課題も出てきているので、ビジョンに位置づけられた取り組み例を一つ一つ取り組んでいければと思います。</p> <p>山科などは大学が協力してくれているようです。京大の生徒たちが関わってくれるように、こちらがアクションを起こしていく必要があるのかなと思いました。</p>
会長	<p>本日議論いただいたものを修正いただいて、各委員へ送付してもらうこととなります。修正案についての意見があれば、今月中に出していただければと思います。最終の確認は会長確認とさせていただきます。</p>
会長	<p>3 その他</p> <p>それでは、続いて議題3のその他について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後の予定ですが、完成した活性化ビジョンは冊子を作成し、自治連合会や各種団体、地域力サポート事業採択団体など、これまでビジョン作成に関わっていただいた方々に送付します。</p> <p>また、区役所・支所の窓口で配布するとともに、市民しんぶん区版へ掲載するなど広報していき、今後、このビジョンの1ページ目にありますように、区内で進行中の各種のまちづくりの施策やこれから区内で取り組まれる施策・事業に反映されるよう周知するとともに、行政としても取り組んで参ります。</p> <p>なお、完成したビジョンの市長への報告については、1月16日に小石会長、片山会長職務代理者から市長へ言っていただく予定ですので、よろしくをお願いします。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
会長	<p>この懇談会も本日が最後となります。ありがとうございます。</p> <p>最後に一言ずつ懇談会にご参加悔いた抱いた感想などをお聞かせいただければと思います。</p>
委員	<p>こういう活動に足をを入れて 3 年になります。40 年前から高齢化が進んできていたこと、交流もないことが、単身でニュータウン外に出て、戻ってきたら見えてきました。</p> <p>これまでの延長上での暮らしでは成り立たないと思ったので、どのようなライフスタイルになるのかなと考えました。ビジョンの中でその時の思いが入っているのは感じたし、みなさんの目線も近づいてきたのかと思います。これをひな形としてスタートしていければと思います。</p> <p>このビジョンを具体化していくには別のエネルギーがいると思います。これはこれということではなくて、アクションプログラムでやれることを考えているが、桂などそれぞれの地域でやることが見えてくる。地域の足元で何をしていくのか見えてくる。そのようにこれが横展開していければ楽しいと思います。</p>
委員	<p>連合会長となって 4 年目になります。芸大移転問題が前会長からあって、この会議に出席させていただきました。大枝の住民の気持ちを伝えさせていただきました。</p>
委員	<p>西京区に住んでまだ長くないのですが、学校と地域、子育てについて考えてきました。まちづくりと言われてこの会議に参加したことは自分にとって挑戦でした。まちづくりについて真剣に考えられたと思います。ひとづくり実行委員会でもありますが、子育てについて真剣にということ、人づくりという面からも関わっていたらなと思います。</p>
委員	<p>小石会長はじめ委員の方にビジョンをまとめていただいてお礼を申し上げます。芸大の跡地の問題からはじまっている会議ではありますが、西京区全体のことを考える決断が会議としてされたことは英断であったと思います。</p> <p>芸大は平成 35 年度に京都駅方面に行きますが、西京区とのつながりは考えていきたいと思っています。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	<p>まちづくりを考えるきっかけがこれまではなかったのですが、大原野では住んでいる地域を子供たちに残せるかということを考えていました。この会議では、西京区全体のまちづくりを考えたのですが、こういう考え方があるのかということもあったので、大原野、おやじの会でも生かしていきたいと思います。</p>
委員	<p>懇談会について、娘も芸大に通っていたので芸大のこととして参加しました。芸大だけではなく西京区全体のことを考えることになったのはよかったと思います。交通の便がわるいので、子育てが終わったら中心部に戻るつもりであったのですが、区民会議などに参加しているうちに西京区を大切に思っている人と出会いました。交通の便も驚くくらいバスが走っているので交通難民ということもなく十分バスの便があります。</p> <p>バリアフリー化されていて電動車いすも市内中心部と比べて乗りやすいまちです。視覚障害者の施設もあるので動きやすいまちです。いろんな人が住まいやすいということアピールできると思います。</p> <p>洛西ニュータウンに住むと決めた時にこの会議があったのでよかったと思います。</p>
委員	<p>中小機構に所属していますが、産業を通じて活性化していくことが我々のミッションです。企業だけでなく住民との接点がこのように生まれ、つながりができる実体験をさせていただいたことが良かったです。</p> <p>法人という住民の在り方もあると考えています。ベンチャープラザでは50社250人と関わっていますが、地域の方との接点がなかなか持てていないことは反省点です。法人従業員として地域住民としてどのように関わっていくのか考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>芸大の職員をしていたころから洛西には愛着がありましたが、懇談会で西京区全体のことを学びました。洛西を重点に仕事をしてきましたが、40周年の事業を通じて、力強い方が多くいることを認識させていただきました。</p> <p>洛西エリア中心の会議でしたが、西京区全体の中で洛西地域の位置づけを考えていきたいと思っています。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
委員	<p>小石会長が熱い思いでチャレンジしてもらいビジョンがまとまってよかったと思います。</p> <p>大阪市の暮らしミュージアムというのがあります。そこでは古い街並みを再現しています。子供たちにも開放しているのですが、市内のほとんどの小学生がそのミュージアムに行っています。</p> <p>大学でもこのミュージアムの話はするのですが、大阪出身の学生が「そのミュージアムに行きました」と言ってきます。小学生の時の体験がポジティブに記憶に残っているのです。古いものが少ない大阪で、住まいに関する歴史蓄積を誇りに思い、楽しい思い出になっていることはよいことだと思います。</p> <p>子供たちにそういう体験をしてもらおうということがあると、将来を考えることができると思います。</p> <p>大原でも超高齢化の状況がありますが、どうすれば子供たちに大原の良さを教えることができるのかということを議論している。ビジョンを子供たちに伝えることができるのか。例えば絵本にするとか。子供を対象としたイベントとするとか。そういった工夫も考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>子供のための住まい・まち・環境づくりを研究テーマとしていますが、具体的な形でまとまっているので、子供たちにどのように伝えていけるかということを考えてみました。</p>
会長	<p>それでは、これで本日の議題は全て終了しましたので、第8回懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>